

あの頃の夏休みは、長かった気がする。

ラジオ体操から始まった、夏休み。靴下が真っ黒になるまで外遊びをした、夏休み。

宿題に追われ泣きながら過ごした、夏休み最終日。

そんな夏の思い出を持つ人も多いのではないのでしょうか。

身近な生き物を探しにいこう。

昔に比べ、子どもを取り巻く環境は大きく変化しました。

遊び方が多様化した一方、外で遊ぶ機会が少なくなっているといわれています。

ー「この危険な暑さの中、長時間外出させるのはやっぱり心配……」

ー「でも、せっかくの夏休みだし、外で思い切り遊んでほしい」

そんな夏だからこそ、身近な自然に目を向けてみませんか。

畑や田んぼが減るなど自然環境の変化はありますが、

五月山や猪名川、近所の公園には、今も多くの生き物が息づいています。

そこで今号の特集では、「本市に生息する生き物」を紹介します。

見慣れた風景の中で、意外と知らない生き物に出会えるかもしれません。

さあ、冒険に出かけましょう。

問合 秘書広報課 ☎ 754・6202

DATA

夏は、こんなにも変わった。

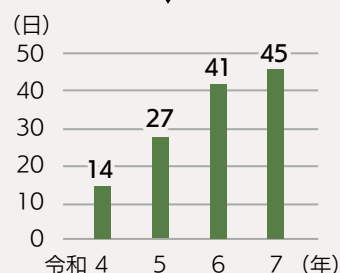
近年は猛暑日が増加し、子どもたちが日中に外で遊ぶことが難しい日も少なくなありません。

府内で猛暑日となった日数は令和4年から増加傾向になっており、7年は45日と過去最多で観測史上最も暑い夏でした。

※「猛暑日」とは、1日の最高気温が35度以上の日をいいます。



大阪府の猛暑日推移



気象庁ホームページ公開データをもとに作成

行く前に十分な備えを！

外出前の準備・心構えをまとめました。

命に関わる危険なこと

熱中症

真夏の屋外活動で最も注意が必要です。帽子を着用し、こまめな水分補給と適度な休憩を心がけましょう。体調が悪いときは無理をせず、活動を中止しましょう。

ハチ

特に攻撃性の高いスズメバチが危険です。何度も刺されたり、少し刺されただけでも体質によってはアナフィラキシーショックを起こし、命に関わる場合があります。巣には近づかないようにしましょう。

ヘビ

日本にはマムシとヤマカガシの2種類の毒ヘビがいます。かまれた場所や毒の量、救護までの時間によっては重症化し、命に関わる場合があります。見つけても近づかないようにしましょう。

マダニ

シカやイノシシなどの野生動物の増加に伴い、マダニも増えています。さまざまな病気を媒介し、特に「重症熱性血小板減少症候群（SFTS）」は命に関わることもあります。草むらには入らないようにしましょう。

天候

天候の急変が命に関わる事故につながる場合があります。特に雷は危険です。雷鳴が聞こえたら、木の下で雨宿りはせず直ちに活動を中止し、建物や自動車へ避難しましょう。

約束事

01 危険な場所には行かない！

02 1人で行動しない！

03 危険な生き物を知る！

04 遠出はしない！

05 天候の変化に気を付ける！

服装・持ち物

服装

check

- ☐ 歩きやすい運動靴
- ☐ 長袖
- ☐ 長ズボン
- ☐ 帽子
- ☐ 靴下
- ☐ レインコート（必要に応じ）
- ☐ 日傘（必要に応じ）

持ち物

check

- ☐ あみ
- ☐ 虫かご
- ☐ タオル
- ☐ 飲み物（多めに）
- ☐ 虫よけスプレー
- ☐ 着替え（必要に応じ）

クマにご注意ください

クマに出会わないための6カ条

全国でクマの目撃情報が相次いでいます。

① 出没情報を事前に確認する

目撃・出没情報があれば行くのを控えましょう。

② 1人で行動しない

複数人で山に入る際は、同行者と離れないように気をつけましょう。

③ 早朝・夕方を避ける

明け方や日の入り前後は、クマの行動が活発になります。

④ ラジオや鈴を鳴らし続ける

絶えず音を鳴らすように。立ち止まると鈴は鳴らない点にも要注意です。

⑤ 常に周りに注意する

クマは木登りが得意なため、頭上にも気を配りましょう。

⑥ 痕跡を見つけたら静かに立ち去る

フンや足跡、爪痕を見つけたら、近くにクマがいる可能性があります。

見つけたときはこちらへ ▶ みどり農政課 ☎ 754・6152、池田警察署 ☎ 753・1234

池田に住む生物たち

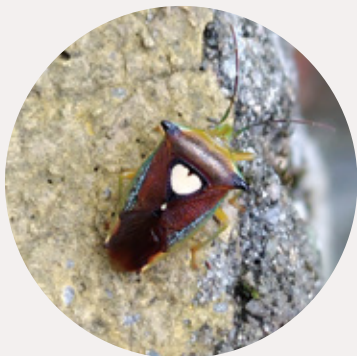
五月山児童文化センターの昆虫クラブで講師を務める山下先生と、「池田・人と自然の会」の皆さんに、本市に生息する生き物を紹介していただきました。

よく見かける生き物もいれば、めったに出会えない珍しい生き物もあるそうです。ぜひ参考にして、探してみてください。

よく見かける身近な生き物

エサキモンキツノカメムシ

公園や五月山のミズキの葉の裏で見かける背中ハート模様が特徴の美しいカメムシ。「幸せを呼ぶカメムシ」とも呼ばれます。



カブトムシ・カブトムシの幼虫

子どもに大人気の大型の昆虫。クヌギやコナラの樹液に集まり、幼虫は落ち葉が積もった腐葉土の中で育ちます。



コクワガタ

市内で最もよく見られるクワガタムシ。樹皮の隙間などに隠れることが多く、寿命が長いため飼育にもおすすめです。

イソヒヨドリ

名前のおり海岸部に生息する鳥ですが、最近では市街地でも見かけることが多くなりました。



アカシジミ

「ゼフィルス」と呼ばれるチョウの仲間。初夏の雑木林に現れる美しいオレンジ色のチョウで、夕暮れには樹上を飛び回ります。

クマゼミの羽化

セミの抜け殻がある公園などへ19時ごろに出かけてみましょう。運がよければ、神秘的な羽化の様子を観察できます。



サワガニ

一生を淡水で暮らします。五月山の沢や、水田付近の自然豊かな水路などで見られます。



ニホントカゲ

昆虫観察中によく出会う爬虫類。幼体は鮮やかなメタリックブルーの尾が特徴で、とても美しい姿をしています。



オイカワ

猪名川や箕面川で一番よく見る魚。春から夏の繁殖期には、オスが鮮やかな婚姻色となる美しい魚です。

EVENT

市内で予定している

生き物関係のイベントスケジュール

● 9月5日 (土)

鳴く虫の観察会

● 10月12日 (祝)

アサギマダラの渡りを見る会

問合 池田・人と自然の会事務局

☎ 761・7289

同事務局ホームページ▶



● 10月11日 (日)

五月山昆虫観察会

● 10月25日 (日)

猪名川の水辺の観察会

問合 五月山児童文化センター

☎ 752・6301

同センターホームページ▶



※イベントの詳細については、各問合先にご連絡ください。

池田に生息しているけど、なかなか見つけれられない生き物



ヒナカマキリ

日本で最も小さなカマキリ。落ち葉の下などに隠れて暮らし、成虫になっても羽が小さいため飛ぶことはできません。足元を探すと出会えるかも。

サツマヒメカマキリ

幼虫のまま冬を越す珍しいカマキリ。成虫は初夏に現れ、夜には外灯へ飛んでくることがあります。



オオシモフリスズメ

日本最大級のスズメガ。早春に現れる「春の三大蛾」の1つ。夜に五月山周辺の外灯を探すと見つかるかも。



ニホンリス

松林の周辺で運がよければ出会えるかも。松ぼっくりを食べた跡（エビフライに似ている）を探してみてください。

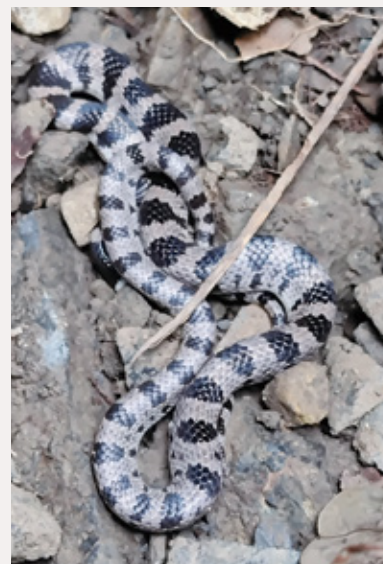


ニホンシガメ

近年数が減少しているカメ。甲羅の尾に近い部分がギザギザになっているのが特徴です。

アカハライモリ

ため池や水田付近の水路にすむイモリ。皮膚から毒を出すため、見つけても触らないようにしましょう。



シロマダラ

低山地の森林にすむ小型の夜行性のヘビ。見つけるのが難しく、「幻のヘビ」と呼ばれることもあります。

フクロウ

夜、市街地でも「ゴロスケ、ホッホ」と鳴く声が聞こえることがあります。巣箱でひなが育ったこともあります。



ゴホンダイコクコガネ

5本の立派な角が特徴の糞虫の仲間。シカの新鮮なフンに集まり、夜には外灯へ飛んでくることがあります。

MESSAGE



山下 肇
(五月山児童文化センター
昆虫クラブ 講師)

「子どもが自然の中で生き物と触れ合うことの魅力や大切さ」

池田市には五月山や猪名川があり、子どもたちが自然と触れ合える恵まれた環境があります。

昆虫や鳥、草花など、さまざまな生き物を見つけて観察したり、実際に触れたりすることで、命の大切さや自然の素晴らしさを実感することができます。

特に昆虫との触れ合いは、子どもたちにとって身近で楽しい遊びであると同時に、誰でも気軽に始められる自然学習の機会です。「この虫の名前は何だろう」「何を食べているのだろう」「どのような暮らしをしているのだろう」といった疑問が生まれ、自ら調べ、考え、新たな発見をする喜びへとつながります。

池田の豊かな自然の中で、多くの生き物との出会いを楽しみながら、自然を大切にする心を育んでほしいと思います。